

大腸がん検診のご案内

大腸がん検診は下記のいずれかを受診することができます。

■大腸ファイバー検診 ■便潜血検査

検査方法については、詳しくは裏面をご覧ください。

30歳以上(平成6年4月1日以前生まれ)の方が対象となります。



①大腸ファイバー検診の申し込み(実施期間:6月)

●お電話で申し込みの場合
健康ほけん課 健康づくり班
☎248-1275
お電話の際は「大腸ファイバー検診の申し込み」
とお伝えください。

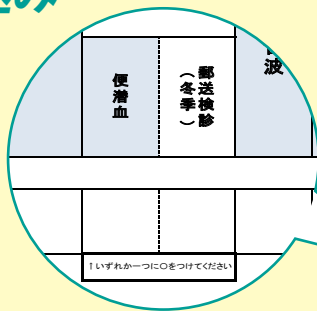
●Webで申し込む場合
外封筒裏面の大腸ファイバー検診二次元
コードを読み込み、申し込みフォームを入力
してください。

すでに申し込みが始まっています。
お早めに申し込みをお願いします。

申し込み期限
5月10日まで

②便潜血検査の申し込み

同封の検診(健診)申込書の
「便潜血」か「郵送検診」
どちらか一方に○印を
記入します。
※両方の受診はできません



大腸がん検診項目の 「便潜血」欄に○印を記入する場合

9月・10月にがん複合検診で受診
(検診会場で検便提出)

8月に検診(健診)の日時などのお知らせと
採便容器などの検診セット(他の検診セッ
ト含む)を送付します。
指定された日時にごがん複合検診会場へ検便
をご提出ください。

大腸がん検診項目の 「郵送検診」欄に○印を記入する場合

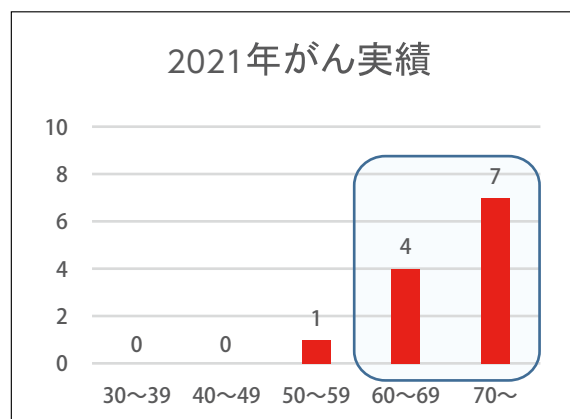
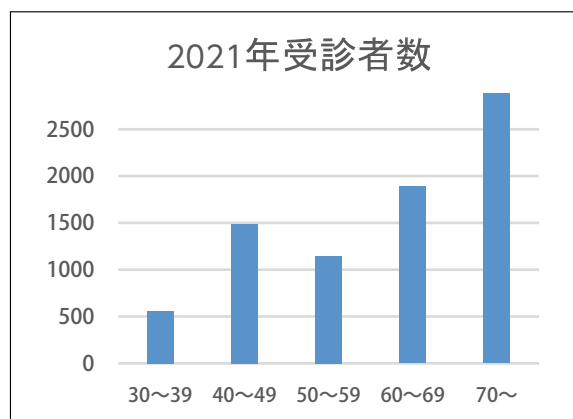
来年1月の郵送検診で受診
(冬季に郵送で検便提出)

来年1月に採便容器や検便を郵送する
ための返送用封筒(切手不要)などを同封し
た検診セット(大腸がん検診のみ)を送付し
ます。郵送検診の受診期限内に、採便し郵送
にて提出ください。

裏面もご覧ください

年に1回の大腸がん検診を!!

●2021年合志市大腸がん検診実績 7,963名



大腸がん検診を受診された方のうち、60代以上の方にがんが多く見つかっています。
がんを予防するためには、40代~50代からの検診が重要です!

その理由は…

大腸がんの特徴

- 1 他のがんに比べ発育がゆっくり。
- 2 自覚症状が出にくい。
- 3 早期発見なら内視鏡で治療できる。



大腸ポリープ



大腸早期がん



大腸進行がん

5年~10年かけて進行

大腸がん予備軍の可能性のある40代、50代の積極的な受診が必要です。

自覚症状がないうちに大腸がん検診を!!

便潜血検査(食品衛生法で定められた便検査とは異なります)

■ 便潜血検査は、大腸からの出血が便に混じっていないかどうかを調べ、大腸がんのリスクがある人をふるい分ける検査です。基準値よりも多く血液が混じっていた場合、判定は「陽性」となり、大腸全体の精密検査が必要となります。

大腸ファイバー検診(便潜血検査+内視鏡(S状結腸))

■ 内視鏡(S状結腸)検査は、大腸がんの最も発症しやすい直腸とS状結腸(全体の約70%)を直接カメラで見っていく検査です。便潜血検査では発見しにくい出血の少ないポリープや早期がんの発見に威力を発揮します。(鎮静剤は使用しません)

お問い合わせ

合志市役所
健康ほけん課 健康づくり班
TEL096-248-1275

大腸肛門病センター高野病院
総合健診センター 検診課
TEL096-320-6510